

新製品

プロセスプラズマ

大気圧プラズマによる、粉粒体・液体の連続処理が可能に !!

大気圧バリア放電による強力なプラズマで、プラズマ処理が行えます。

概要

- プロセスプラズマは、粉粒体・液体の各種処理素材に対して、大気圧下での希ガス大気圧バリア放電による、強力なプラズマを用いた、プラズマ連続処理が行えるシステムです。
- 真空装置を必要としないため、イニシャルコストとランニングコストの低コスト化が図れます。
- プロセスプラズマは、通常の粉体処理と同様の操作でプラズマ処理が行えるので、プラズマ処理の応用範囲が広がります。

プラズマミル（卓上タイプ）

特長

- ・ 原料の投入、排出の自動機構を備えたバッチ式ポットミル内で、プラズマを生成します。
- ・ 粉碎、解砕、混合をメディアを用いて行い、同時にプラズマミル処理が行えます。
- ・ プラズマ処理後の処理物排出は、ポットを傾け回転方向を反転することで行えます。
- ・ プラズマ処理対象物は粉粒体・液体の各種素材から選択できます。
- ・ 卓上でのプラズマ処理が行えます。

使用方法

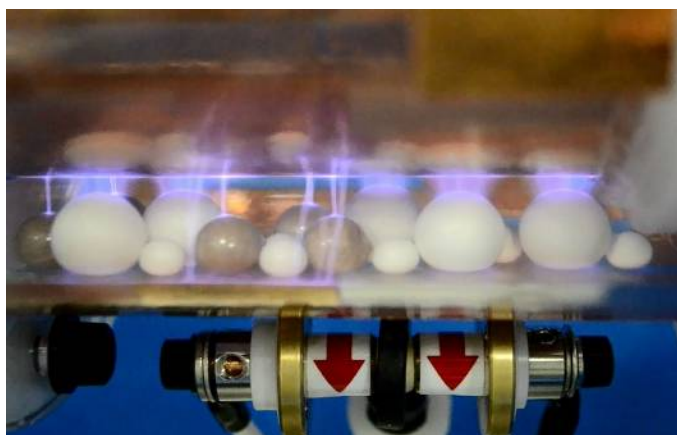
- ・ 1バッチの処理量50ccに合わせ、目的とする粉碎、解砕、混合用メディアの径と量を選定して、処理物、メディアの順に投入します。
- ・ プラズマの生成時間とインターバルをタイマーに設定して、希望するプラズマ処理効果が得られるまで、ポット内に滞留させます。
- ・ プラズマ処理後の処理物は、ポットの傾きを変え回転方向を反転させて、ポットから排出します。（水平排出も可）

生産機対応

- ・ 卓上タイプでプラズマ処理能力を確認させていただき、そのデータを基に生産機を設計します。
- ・ 生産機では、連続式も選択いただけます。
- ・ 反応性ガス導入による官能基の表面修飾とうの、オプションカスタマイズはご相談下さい。



プラズマミル（卓上タイプ）



ポット処理室内生成プラズマ

プラズマスクリュー（卓上タイプ）

特長

- ・ スクリューコンベアのスパイラル先端とトラフ間で、プラズマスクリューを生成します。
- ・ プラズマ生成で発生する衝撃波と、スパイラルの回転で処理物は、30cmの間を移動しながら、プラズマスクューでプラズマ処理されます。
- ・ 処理物は、プラズマ照射を受けながら移動することで、高効率のプラズマスクュー処理が行えます。
- ・ プラズマスクューを、多段式の折り返し構成にすることで、処理時間の制限がなくなります。
- ・ プラズマ処理対象物は粉粒体・液体の各種素材から選択できます。
- ・ 卓上でのプラズマ処理が行えます。

使用方法

- ・ 使用法は通常のスクリューコンベアと同じです。
- ・ プラズマの生成時間とインターバルをタイマーに設定します。

生産機対応

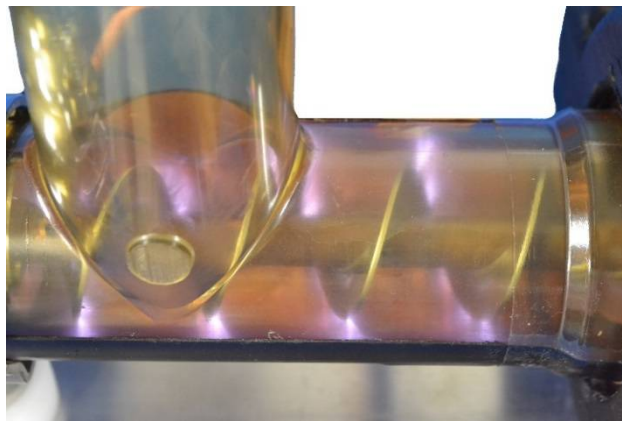
- ・ 卓上タイプでプラズマ処理能力を確認させていただき、そのデータを基に生産機を設計します。
- ・ 生産機では、大口径仕様も選択いただけます。
- ・ 官能基の付与とは、ご相談のうえ対応させていただきます。

プラズマ処理操作手順

1. プラズマ処理材料を、装置に投入します。
2. プラズマガス導入後、制御盤①の主電源スイッチを入れます。
3. ④のON-OFF時間設定タイマーの時間を設定します。基準は、ON時間のプラズマ照射時間を0.2secに、OFF時間は1.0secです。
4. ⑤の動作継続時間設定タイマーの時間を設定します。基準は、10secからです。
5. ②の出力開始スイッチを押し、プラズマ処理を行います。
6. ⑤の動作継続時間設定タイマーがOFFになり、プラズマ処理が終了します。



プラズマスクリュー（卓上タイプ）



プラズマスクリュー生成プラズマ



制御盤配置

※仕様は品質改善のため予告なしに改訂することがあります。

アルファ株式会社

〒487-0034

愛知県春日井市白山町6丁目6-8

TEL:0568-53-5611 FAX:0568-53-5612

代理店